

2013年12月13日

**キャンペーン・アジアパシフィック誌が選ぶ2013年のエージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞で、
電通グループはデジタル・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞1個、
金賞7個、銀賞6個、銅賞8個を獲得**

電通グループは、アジア太平洋地域を代表する『キャンペーン・アジアパシフィック誌』(Campaign Asia-Pacific)※が選ぶ「2013年のエージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞」のエージェンシー部門において、デジタル・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞1個、金賞7個、銀賞6個、銅賞8個を獲得しました。また個人を表彰するピープル部門でも2名が受賞しました。

エージェンシー部門の詳細は以下のとおりです。

<エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞>

- ・グレイター・チャイナ デジタル・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
アイソバー (Isobar)

<金賞>

- ・オーストラリア デジタル・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
アイソバー・オーストラリア (Isobar Australia)
- ・中国 デジタル・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
アイソバー・チャイナグループ (Isobar China Group)
- ・台湾 メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
カラ・台湾 (Carat Taiwan)
- ・台湾 デジタル・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
アイソバー・台湾 (Isobar Taiwan)
- ・日本 デジタル・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
アイソバー・ジャパン (Isobar Japan)
- ・韓国 メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
カラ・コリア (Carat Korea)
- ・韓国 デジタル・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
アイソバー・コリア (Isobar Korea)

<銀賞>

- ・韓国 メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
電通メディア韓国 (Dentsu Media Korea)
- ・インドネシア メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
電通メディア・グループ・インドネシア (Dentsu Media Group Indonesia)
- ・マレーシア メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
ビジウム・マレーシア (Vizeum Malaysia)
- ・シンガポール デジタル・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
アイソバー・シンガポール (Isobar Singapore)
- ・タイ デジタル・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
アイソバー・タイランド (Isobar Thailand)
- ・ベトナム メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
電通メディア・ベトナム (Dentsu Media Vietnam)

<銅賞>

- ・中国 メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
カラ・チャイナ (Carat China)
- ・香港・マカオ メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
電通メディア香港 (Dentsu Media Hong Kong)
- ・マレーシア メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
カラ・マレーシア (Carat Malaysia)
- ・マレーシア デジタル・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
アイソバー・マレーシア (Isobar Malaysia)
- ・タイ メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
カラ・タイランド (Carat Thailand)
- ・東南アジア スペシャリスト・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
アイプロスペクト・シンガポール (iProspect Singapore)
- ・インド クリエーティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
タプルート・インド (Taproot India)
- ・インド メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー
カラ・インド (Carat India)

また、ピープル部門の詳細は以下のとおりです

- ・ グレイター・チャイナ エージェンシー・ヘッド・オブ・ザ・イヤール
カラ・チャイナ (Carat China) の CEO Adil Zaim
- ・ 南アジア クリエーティブ・オブ・ザ・イヤール
タプルート・インディア (Taproot India) のチーフ・クリエイティブ・オフィサー
Santosh Padhi

以 上

※『キャンペーン・アジアパシフィック誌』は、広告、メディア、ダイレクト、デジタル、マーケティング業界の最新動向を紹介する英国『キャンペーン誌』(Campaign)のアジア太平洋地域版。前身は1970年代初頭に創刊された『メディア誌』、2000年に英国『キャンペーン誌』の傘下に入った。